

すこやか 8 月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA

第228号
月号



こつ そ しょうしょう 骨粗鬆症センター開設のお知らせ



- 日本整形外科学会専門医
- 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
- 日本整形外科学会運動器
リハビリテーション医
- 義肢装具等適合判定医師

骨粗鬆症センター

センター長 角田 雅也 (事業管理者・院長)



- 日本整形外科学会専門医
- 日本骨粗鬆症学会認定医
- 日本整形外科学会運動器
リハビリテーション医
- 日本リハビリテーション医学会臨床医
- 日本骨折治療学会評議員

骨粗鬆症センター

副センター長 岩倉 崇 (整形外科 副部長)

ご挨拶

近年、高齢者人口の増加に伴って骨粗鬆症を患う方が増加し、軽微な外力によって生じる脆弱性骨折が増加の一途をたどっています。中でも、椎体骨折や大腿骨近位部骨折はADL（日常生活動作）やQOL（生活の質）を低下させて寝たきりや要介護になりやすいことや生命予後にも大きな影響を及ぼすことが知られています。また、脆弱性骨折後には高率に再骨折を起こしやすいことが知られており、より積極的な骨粗鬆症治療が必要となります。

当センターは、骨粗鬆症の予防と治療を重点的に行うことを目標に、2023年8月に開設しました。当センターの活動は、地域医療機関（かかりつけの病院、医院の先生方）との連携が不可欠と考えています。地域での包括的な骨粗鬆症治療の取り組みや治療の継続が出来るようにご協力をよろしくお願い致します。

特色・方針

当院では、地域の先生方や院内からの骨粗鬆症の検査依頼に基づき、骨密度検査（腰椎及び大腿骨のDEXA（X線骨塩定量測定装置））や胸腰椎のレントゲン、血液検査を組み合わせで診断、治療を行っております。また、原発性骨粗鬆症だけでなく、生活習慣病（特に糖尿病や慢性腎臓病、慢性閉塞性肺疾患など）や内科疾患、薬剤等による続発性骨粗鬆

症に関しても、患者さんのそれぞれの病態に応じた治療を行っております。骨粗鬆症治療の3本柱は運動、食事、薬物ですが、当院で治療方針を決定し薬物治療を開始した後は、基本的にはかかりつけ医での治療継続を依頼させていただき、当院で年に1～2回程度定期健診を行う方針としております。

骨折リエゾンサービス(FLS)

当院では、大腿骨近位部骨折で入院した患者様を対象に、骨折リエゾンサービス（以下、FLS）を開始しております。FLSは、医師・看護師・理学療法士・薬剤師・栄養士・医療ソーシャルワーカー（MSW）等の多職種連携により、脆弱性骨折後の骨粗鬆症治療開始率・治療継続率を上げるとともに、転倒予防を実践することで再骨折（二次骨折）を防ぐ取り組みです。骨折の治療とともに、入院後早期に骨粗鬆症の評価・薬物治療を開始しています。当院で行った検査結果や治療薬等を記した「骨粗鬆症サマリー」を作成し、転院先や紹介元等の医療機関へ情報提供を行い、骨粗鬆症治療継続による再骨折予防を行っています。今後、他の脆弱性骨折に対しても導入を目指しています。

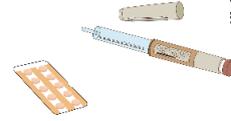
受診について

毎週木曜日午後骨粗鬆症専門外来を開設しております。かかりつけ医等の医療機関もしくは院内からの予約制となっております。



第4回 糖尿病教室 すこやか版 ～糖尿病の薬物療法について～

薬剤師 中尾 ユミ



今回は糖尿病の薬物治療についてお話したいと思います。

糖尿病のお薬について

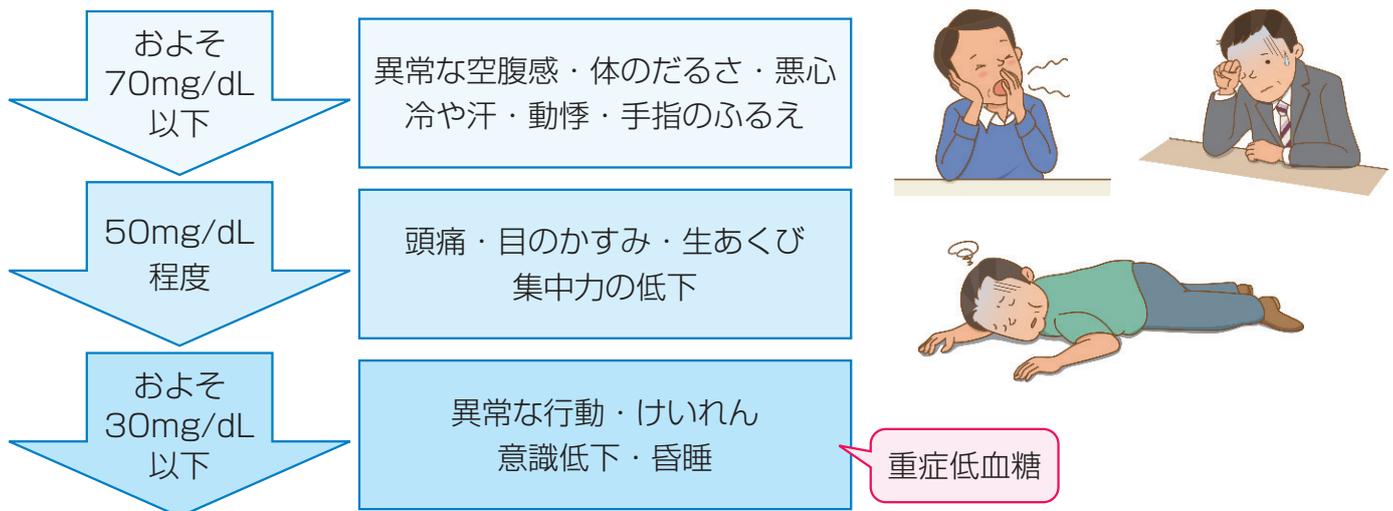
お薬には、飲み薬と注射薬があります。飲み薬では、インスリンの分泌を良くするもの、インスリンの効きを良くするもの、食事ととった糖の分解・吸収を遅らせるもの、糖の排泄を促すものがあります。注射薬には、インスリンの分泌を促すものや、インスリンそのものを外から補うものがあります。

治療に使用する薬剤は、1型糖尿病と2型糖尿病で異なります。1型糖尿病の方は、自分の体でインスリンを作れないため、インスリン注射による薬物療法が必要です。2型糖尿病の方は、まずは食事と運動を行い、血糖値を見ながら必要に応じてお薬を使用します。どのお薬を使用するかは、その方の体格やインスリンを作る力がどのくらい残っているかなど、一人ひとりの状態を診て決められます。2型糖尿病であっても、インスリン分泌が十分に出ていないときや飲み薬だけでは血糖コントロールがうまくいかないときは、インスリン注射が必要になることもあります。

低血糖について

お薬による治療を受けている場合、注意すべきことの1つに低血糖があります。これは異常に血糖値が下がることで生じるもので、一般的に 図1のような症状があらわれます。これらの低血糖症状を感じたら、すぐにブドウ糖10g、あるいは砂糖20gをとるか、同等の糖分を含む市販飲料150～200mLを飲みます。ただし、糖の分解を抑える作用をもつお薬を服用している方は、砂糖では十分に吸収されないため、必ずブドウ糖で対処してください。血糖値にかかわらずインスリンの分泌を良くするお薬やインスリン注射を使用している場合は、特に注意が必要です。低血糖はいつ、どこで起こるかわからないので、ブドウ糖を常に携帯しておくことが大切です。家族や周りの方にも、低血糖の症状や対処法を覚えてもらいましょう。

図1：低血糖症状



■糖尿病内科 佐久間医師より

重症低血糖の救急処置として、意識低下などでご本人が口からブドウ糖を取れない場合、ご家族などの周りの方が血糖値を上げるためにグルカゴン※製剤（点鼻薬）を使う方法があります。具体的な適応や使用方法については医療機関にお問い合わせください。

※グルカゴンとは、膵臓からでるホルモンのことで、主に血糖を上げる働きをします。





市民講座

病気を治すために備えること



自分が？
家族が？



「手術が必要です」と いわれたとき慌てないために

三田市民病院 手術看護認定看護師 平島 教子

2023年10月13日(金) 13:30 ~ 15:00

皆さんは「手術を受ける」ということを「自分はないだろう」と思っていませんか？近年疾病治療は進化を遂げ平均寿命も延びています。手術治療もその一つで、私達は日頃から健康維持に気を付けるとともに「手術が必要です」といわれた時、安全に手術を受けられるように、日頃から備えておくことが大切です！例えば普段の生活する中で転倒し骨折するなど、急に手術が必要になる方も年々増加しています。

いざ手術を受ける時、つい放っていた高血圧や糖尿病、長期喫煙などがあれば手術治療までの入院や退院までの治療が長くなります。健康を維持したり改善する取り組みを理解して実際に行動しておくことで合併症の予防やリスクの低減につながります。

ぜひ今から備えておきましょう！！手術看護認定看護師がわかりやすく説明させていただきます。

場 所：総合福祉保健センター
定 員：先着50名
受講料：無料

●定員になり次第締め切ります



お申込み方法

下記2次元バーコード
または、お電話で
お申し込みください

皆さん
ご参加お待ちしております！

お申込み電話

079-565-8766



近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう！



おだわら内科 小田原 聡一 院長

今年の5月に弥生が丘に開業しました。

一般内科として高血圧・高脂血症・糖尿病といった生活習慣病を中心に、不眠症・花粉症・骨粗しょう症・頻尿等々の他科疾患にも可能な限り対応しています。また専門医の診察が必要と判断すれば紹介をしています。他には各種健康診断や予防接種も実施しています。また個室対応可能な発熱外来のほかにネットで予約システムも導入しています。病気で不安なことがあれば、まずにご相談だけでもお気軽にお越しください。

UCMビルのエレベーター2階上がってすぐ目の前です。ビル前には大きな駐車場もあります。地域のかかりつけ医として地域医療に貢献できるように努めてまいります。よろしく願い致します。



〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1-2-2

電話：079-558-8018

診察科目：内科

診察時間：午前9:00～12:00 / 午後15:00～18:00

休診日：木曜日、土曜午後、日曜祝祭日

ホームページ：<https://odawara-cl.com/>

診療時間	午前：9:00～12:00		午後：15:00～18:00			
	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	×

みのだ整形外科クリニック 蓑田 正也 院長

この度、新三田駅近くに「整形外科」を開業させていただきました、蓑田正也と申します。

これまでに、神戸大学病院整形外科の医局員として、たくさんの病院で研鑽を積みさせていただきました。一般的に整形外科は総合病院で研修を積みますが、「科」の特性上、日常的な痛み・痺れ（簡単に言うと致命的でない症状）に関しては、総合病院で治療するのが難しいのが現状です。なぜなら総合病院の役割は、手術加療や専門的治療が必要な方の治療がメインになるからです。したがって、手術を希望されない方、直近では手術不要な方、そして、手術ではなくリハビリが必要な若者（アスリート）への治療が、したくてもできないというのが、勤務医時代の私の悩みでした。そのジレンマを解消すべく、同じ着眼点を持たれている先輩方のクリニックで勉強させていただきました。今でも木曜日は先輩のクリニックへ外来加療の勉強に行かせていただいております。木曜休診に関しては、ご不便をおかけして申し訳ございません。

整形外科疾患の、治療の要（かなめ）は運動器リハビリテーションだと確信しております。症状にお困りの皆様、ご来院をお待ちしております。



〒669-1313 兵庫県三田市福島412

電話：079-567-3750

診察科目：整形外科

診察時間：午前9:00～12:30 / 午後15:00～18:30

休診日：木曜、土曜午後、日曜、祝日

ホームページ：<https://minocli.com/>

診療時間	午前：9:00～12:30		午後：15:00～18:30			
	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	×

編集後記

5月8日から新型コロナウイルス感染症が指定感染症から5類に移行されました。世の中は少しずつ、コロナ前の日常を取り戻しつつありますが、感染者は増加しております。病院は患者さんが多数来院する場所であり職員だけでなく、患者さんやお見舞いの方にも引き続きマスク着用をお願いしております。感染予防にご協力をよろしくお願いいたします。

すこやか(第228号)
令和5年8月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
<https://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>